

I 令和6年度事業計画

(4月1日から翌年3月31日まで)

【基本方針】

森林や緑は、木材の生産はもとより、清らかな水を育み、大気を浄化し、美しい県土を保全するなど、私たちにかけがえのない恵みを与え続けている。

この人類共通の財産である森林や緑を将来に引き継ぐことは、今を生きる我々の責務である。

このため、森林や緑を守り育て、緑豊かな郷土づくりに貢献している「緑の募金」の役割について、より一層県民の皆様に周知を図るため、「緑の募金 で進めようSDGs」をスローガンに掲げ、普及啓発・広報等の取組を強化して、緑の募金運動を推進する。

「SDGsの達成」や「2050年カーボンニュートラルの実現」に貢献していくため、県民一人ひとりの参加と協力や企業・団体等との連携を一層強化させ、公共施設の緑化、環境教育による青少年の育成、循環型資源である木材の利用等の普及啓発など、幅広い緑化事業を展開する。

【推進目標】

令和6年度における緑化推進運動の目標は次のとおりとする。

- 1 多様な緑に育まれる豊かなあいちを築こう
- 2 緑とふれあう心豊かな子供たちを育てよう
- 3 豊かな森林の造成を図ろう

【事業内容】

推進目標を達成するため、次の事業を行う。

【森林整備・緑化推進事業計画】（公1）

1 多様な緑に育まれる豊かなあいちを築こう

県民の緑化推進に対する理解を深め、県民総参加の県土緑化を目指し、次の事業等を行う。

(1) 愛知県植樹祭

春の緑化強調期間の中心行事として、県内各界代表者及び地元関係者の参加を得て県及び尾張旭市との共催により、全国植樹祭開催5周年を記念して、式典及び記念植樹等を開催する。

ア 時 期 5月18日（土）

イ 場 所 （式典会場）尾張旭市文化会館
（植樹会場）愛知県森林公園

ウ 参 集 者 約500人

(2) 緑化木の配布

家庭緑化の推進と緑化思想の高揚を図るため、緑化木の配布を行う。

ア 時 期 春及び秋の緑化強調期間等

イ 配布対象 一般県民

ウ 配布本数 10,000本

(3) 緑化活動への支援

県内における緑化を推進するため、県民参加の緑化活動等に対して支援する。

ア 地域緑化促進事業

(ア) 対象 地域住民の団体等

(イ) 内容 里山再生事業、木工教室、自然観察会等

イ 地域緑化促進事業（広域）

(ア) 対象 市町村等

(イ) 内容 地域植樹祭、緑化普及啓発、全国植樹祭理念継承行事

(4) 緑化活動の普及啓発

緑化、森林整備、木材利用の推進等の普及啓発を図るため、小中学校の児童・生徒、一般県民、地域団体等を対象に、緑や森林に関する体験学習会を実施する。

(5) 緑化功労者等表彰

運動の一層の発展を期するため、緑化の実践及びその普及活動等に特に功労のあった個人、団体を表彰する。

2 緑とふれあう心豊かな子供たちを育てよう

次代を担う児童・生徒が自然と親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心を育み、健やかに育つことを目指して次の事業を行う。

(1) 学校関係緑化コンクール

学校の環境緑化及び学校林の活用を促進し、教育環境の整備並びに児童生徒に緑化の重要性を認識させるため、県との共催により学校関係緑化コンクールを行う。

ア 部 門	学校環境緑化の部・学校林等活動の部
イ 募集期間	5月中旬～7月中旬
ウ 表 彰	令和7年度愛知県植樹祭式典の席上で行う。
エ そ の 他	優秀校を(公社)国土緑化推進機構の行う全日本学校関係緑化コンクールに推薦する。

(2) 緑化ポスターコンクール

小中学校等の児童生徒の緑化意識の高揚を図るため、緑化ポスターコンクールを県の後援により実施する。

ア 募集期間	5月中旬～9月上旬
イ 表 彰	令和7年度愛知県植樹祭式典の席上で行う。
ウ そ の 他	優秀作品は、(公社)国土緑化推進機構が行う国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールに推薦する。

(3) 国土緑化運動・育樹運動標語作品の推薦

(公社)国土緑化推進機構が行う国土緑化運動・育樹運動標語募集に、小中学校等の児童生徒による優秀作品を推薦し、緑化の普及啓発を図る。

(4) みどりの少年団活動

自らが自然の中で活動することにより、緑を愛する心を持つ健全な少年・少女を育てるため、関係機関等の協力を得て、次の活動を行う。

ア 育 成

みどりの少年団の地域の特性に応じた学習活動、奉仕活動、野外活動等を助長するため、その活動費及び装備に係る費用に対して助成する。

(ア) 対象少年団 県内の 81 団

(イ) 助 成 内 容 活動費に対する助成

イ 行 事 等

次の行事等の実施や参加支援を行い、組織の充実と資質の向上を図る。

(ア) 愛知県みどりの少年団交歓会

a 期 日 12月1日(日)

b 場 所 愛知県緑化センター(豊田市西中山町)

c 参 加 県内みどりの少年団

d そ の 他 優秀な活動発表をしたみどりの少年団を(公社)国土緑化推進機構の行う全国緑の少年団活動発表大会に推薦する。

(イ) 東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー

a 期 日 8月6日(火)

b 場 所 岐阜県(岐阜県関ヶ原ふれあいセンター他)

c 参 加 愛知、岐阜、三重各県のみどりの少年団(隊)

(ウ) みどりの学習教室

みどりの少年団を対象に、自然観察会、木工教室等を実施する。

a 期 日 7月23日(火)～26日(金)

b 場 所 愛知県緑化センター(豊田市西中山町)

3 豊かな森林の造成を図ろう

木材生産、県土の保全、水資源のかん養、大気の浄化、保健休養等多くの機能と、効用を持つ森林を育成・整備するため、次の事業を行う。

(1) どんぐり山造成事業

県内のみどりの少年団、ボーイスカウト、ガールスカウトの交流により、どんぐり山を造成する。

(ア) 期 日 11月10日(日)

(イ) 場 所 (一社)日本ボーイスカウト愛知連盟 新城吉川野営場

(2) 県民参加の緑づくり活動推進事業

県民参加型で実施する植樹や育樹などの緑化行事、上下流連携による森林整備活動・普及啓発活動に対して助成する。

ア 県民参加の緑づくり活動推進

(ア) 対 象 市町村、森林ボランティア団体等

(イ) 事業内容 県民が参加する植樹や育樹等の緑化行事や普及啓発活動

イ 未来へつなぐ森づくり

(ア) 対 象 学校、市町村等

(イ) 事業内容 児童が参加する植樹や育樹等の緑化行事や普及啓発活動

(3) 緑と水の森林ファンド事業等の実施

(公社)国土緑化推進機構が造成管理する「緑と水の森林ファンド」の運用益の交付を受けて、次の事業を実施する。

ア 調査研究事業（ふるさと樹木診断）

古くから地域の人達に愛され親しまれてきた巨樹、名木等のうち、都市化の進展や環境変化等により、樹勢の衰えているものについて樹勢診断を実施し、保護・保存に役立てる。

a 診断本数 40本

b 診断委託先 (一社) 愛知県樹木診断協会

イ 普及啓発事業(みどりに親しむ集い)

ウ 活動基盤整備事業(森林ボランティアリーダー養成事業等)

(4) そ の 他

ア 学校林活用促進事業の対象校の推薦

イ 学校環境緑化モデル事業の対象校の推薦

ウ 子どもたちの未来の森づくり事業対象団体の推薦

エ 緑化の普及啓発等に関連のある次の行事等を協賛

(ア) 全国植樹祭、全国育樹祭への参加

(イ) 愛知県緑化樹木共進会

(ウ) 関連緑化、林業団体の実施する諸行事

【緑の募金事業計画】（公２）

(1) 緑の募金

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき募金を実施し、寄附された募金は、森林の整備、緑化の推進等に活用する。

募 金 目 標 額	９２，０００千円	
募 金 の 期 間	(春) ４月１日～ ５月３１日	
	(秋) ９月１日～１０月３１日	
募 金 の 方 法	家庭・街頭・職場・企業・学校・その他	
募 金 の 使 途	森 林 の 整 備 (森 林 整 備 事 業)	２，１６３千円
	緑 化 の 推 進 (緑 化 推 進 事 業)	６５，６４９千円
	森 林 の 整 備 又 は 緑 化 の 推 進 に 係 る 国 際 協 力	３００千円
	募 金 資 材 購 入 費	５，０１０千円
	募 金 活 動 推 進 費	１，０７３千円
	推 進 事 務 費	１５，７１５千円
	交付金((公社)国土緑化推進機構)	２，０９０千円
	合 計	９２，０００千円

(2) 緑の募金推進キャンペーン（「緑の募金で進めようSDGs」）

ア 期 日 ５月４日（土・祝）

イ 内 容 愛知県緑化センターで開催される「みどりフェスティバル２０２４春」において「みどりの日」の普及啓発、「緑の募金」への協力を呼びかける。

ウ 場 所 愛知県緑化センター（豊田市西中山町）

(3) 企業・団体等と連携した普及啓発活動

(ア) 出前講座の開催

(イ) イベントへの参画

(ウ) 人材交流・情報交換活動

【緑 化 強 調 期 間】

緑化運動の効果を一層高めるため、次のように強調期間を定めて、運動の強化を図る。

種 別	期 間	主 な 緑 化 行 事 等
春の緑化強調期間	4月1日 ～ 5月31日	緑の募金推進キャンペーン、 県植樹祭（緑化コンクール・緑化功労者の 表彰、緑の募金感謝状の贈呈、記念植樹等） 緑化木の配布 等
秋の緑化強調期間	9月1日 ～ 11月15日	県緑化樹木共進会、みどりの少年団交歓会、 どんぐり山造成事業、緑化木配布 等

【広 報 活 動】

緑化の重要性を広く県民に周知徹底するため、各メディアにより積極的に広報活動を行う。

- 1 新聞・市町村広報への掲載
- 2 企業・団体等機関誌への投稿
- 3 インターネットによる普及宣伝